

## 課題解決型インターンシップ成果報告会 を開催しました

10月18日（水）課題解決型インターンシップ成果報告会を開催しました。学生14名が、受入先担当者・メンター職員などに向けて、プロジェクトごとに活動報告を行いました。

課題解決型インターンシップは、企業が実際に抱える課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを実践することで、実社会でも応用可能な汎用的能力を養うことを目的としています。今年度は、科目担当の教養力育成センター教員 坂本文子先生の指導のもと、14名の学生がおよそ4週間のインターンシップに取り組みました。報告会では、受入先の方々にもお越しいただき、プロジェクトごとに課題解決への取り組みや成果、インターンシップで得た学び、それらを今後の大学生活でどう活かしていくかなどを発表しました。発表後は参加者全員がチームにわかれ、産学官連携、ひいては地域共創の観点から、今回取り組んだ課題をどうしたら異なる立場や分野と連携しながら、さらにより良い状態にしていけるかについて意見交換を行いました。



	プロジェクト受入先	プロジェクトテーマ
①	古賀市役所 デジタル推進課	行政事務のDX（デジタルトランスフォーメーション）化、市民サービス向上の検討
②	古賀市役所 健康介護課	「古賀式 私の朝プロジェクト」を通じた朝食摂取状況の実態把握 及び課題解決方法提案
③	篠栗町役場 健康課	「オアシス篠栗」におけるゼロカーボンに向けた取り組み
④	篠栗町役場 こども育成課	夏休み期間の放課後児童クラブにおける 職員同士の円滑な情報共有について
⑤	株式会社 スミオン	Webサイト制作会社における実践的な仕事の体験
⑥	一般社団法人 新宮町おもてなし協会	福岡都市圏において住みやすい街 新宮町！ 新宮町の魅力発見・発信プロジェクト（しんぐうマルシェ）
⑦	工業大学サミット 宮島PBL	広島・宮島町屋の保存と活用



自治体や企業のご協力の下、学生たちは、「学んだ知識や技能を実社会で活かしてみたい」「地域の課題解決に挑戦してみたい」など、それぞれに目標をもって4週間のインターンシップに臨みました。成果報告会では、インターンシップ前とは比べ物にならないくらい良い表情で、堂々と、活動の成果や経験から学んだことを話してくれました。どの報告も、経験したからこそ得られた気づきがあったこと、大変だと思ふことを乗り越えたからこそ得られた面白さややりがいがあったことが伝わる内容でした。また、意見交換では、ご参加いただいた受入先の皆さまからの問いかけに、しっかりと自分の意見をもって応える受講生の皆さんの様子が印象的でした。

この経験を自信にして、就職活動や地域活動に活かしていってほしいと思います。

担当教員：坂本 文子